

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	緑化学工					授業形態	講義		
科目コード	281400	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	宮川 央輝								
授業概要	<p>建設コンサルタントにて、公園緑地、景観まちづくりに関する調査、計画、設計の実務経験及び国家資格(技術士、1級造園施工管理技士)を有する教員が授業を担当する。</p> <p>自然や人工裸地面を迅速に植生で覆うことを目的として行われてきた緑化工術であるが、近年は生活環境の向上、自然環境の保護や多種防災機能の強化など多面的な目的のために、緑の創生が取り組まれている。本科目においては劣化した植生・生態系およびその諸機能の修復・再生技術と基礎を学ぶ。</p> <p>従来の斜面緑化に関する基礎的な事項に加え、実務経験を踏まえて、実施計画で用いられる屋上緑化や壁面緑化等の都市緑化技術の紹介や、砂漠などの荒地緑化、環境林の造成などを最前線の実例取り扱う。</p> <p>この授業では人工空間や都市域における緑の作り方とその意義について理解できる能力を身につけることを目指している。</p>								
関連する科目	関連する授業として「造園植栽論」「都市緑地論」を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	この授業では、実社会における即対応能力を育成するため、実際に国土交通省で公開されている緑化学工関連の最新施策資料を取り入れた課題解決型の授業を展開する。								
授業計画 【第1回】	<p>1. ガイダンス：緑化学工の必要性とその活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の全体的な流れを説明し、実社会に活用される緑化学工の知識を学びます。 								
授業計画 【第2回】	<p>2. 緑化学工の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化学工の専門領域や実際の技術領域を学びます。 								
授業計画 【第3回】	<p>3. 緑化学工の最新技術1：みどりをいかにす技術（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題や景観、レクリエーションの場等に活用される緑化技術と知識を事例とともに学びます。 								
授業計画 【第4回】	<p>4. 緑化学工の最新技術1：みどりをいかにす技術（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題や景観、レクリエーションの場等に活用される緑化技術と知識を事例とともに学びます。 								
授業計画 【第5回】	<p>5. 緑化学工の最新技術2：みどりをつくる技術（1）</p>								
授業計画 【第6回】	<p>6. 緑化学工の最新技術2：みどりをつくる技術（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺や屋上、人工地盤、法面緑化等に活用される緑化技術と知識を事例とともに学びます 								
授業計画 【第7回】	<p>7. 緑化学工の最新技術3：みどりをそだてる技術（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木管理やグラウンドカバー、ピオトープ等の管理に活用される緑化の育成管理技術を事例とともに学びます 								
授業計画 【第8回】	<p>8. 緑化学工の最新技術3：みどりをそだてる技術（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木管理やグラウンドカバー、ピオトープ等の管理に活用される緑化の育成管理技術を事例とともに学びます 								
授業計画 【第9回】	<p>9. 緑化学工の最新技術4：みどりをまもる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境保全や里地里山保全などに活用される緑化の育成保全技術を事例とともに学びます 								
授業計画 【第10回】	<p>10. 緑化学工の最新技術4：みどりをひろめる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化の推進や評価技術を事例とともに学びます 								
授業計画 【第11回】	<p>11. グリーンインフラストラクチャーの課題と国内外の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラが求められる時代背景とその国内外の事例を学びます。 								

授業計画 【第12回】	12. グリーンインフラの国土行政分野の取組 ・グリーンインフラに関わる国内の施策に触れ、社会で必要となる緑化施策を学びます。
授業計画 【第13回】	13. グリーンインフラの取組事例 ・グリーンインフラに関わる国内外の先進事例を学びます。
授業計画 【第14回】	14. 今後のグリーンインフラの課題と展開（1）
授業計画 【第15回】	15. 今後のグリーンインフラの課題と展開（2） ・緑化工学の技術を活かして、現在の社会問題に対しての課題解決を図るための展開方法を学びます。
授業の到達目標	緑の創造のために播種や植樹を行うのみならず、現在の社会経済状況や地球環境問題を把握し、実社会に即した問題解決を図るための環境緑化技術を理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	様々な緑化対象をメディア媒体や実物をなるべく多く見て、イメージできるようにする。予習復習など併せて1時間程度の学修が望ましい。
授業時間外の学修 【復習】	様々な緑化対象をメディア媒体や実物をなるべく多く見て、イメージできるようにする。予習復習など併せて1時間程度の学修が望ましい。
課題に対する フィードバック	授業内容から実社会の問題解決の考察を図る課題の提出を行い、評価・解説を伝える。
評価方法・基準	学習意欲（30点）及び課題提出物（70点）の結果により評価する。論述的な解答が求められる。
テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	<p>【専門分野（専門資格）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A P E C エンジニア（Environmental） ・ 技術士 [総監技術監理部門、建設部門（都市及び地方計画、河川砂防及び海岸海洋、道路、建設環境）、農業部門（農村環境）、環境部門（自然環境保全）、森林部門（森林土木）] ・ 1級ビオトープ管理士（日本生態系協会） ・ 1級造園施工管理技士 ・ 環境省環境カウンセラー <p>【受賞歴】</p> <p>2009年 グッドデザイン賞金賞（デザインディレクター） 2009年 グッドデザイン賞受賞（デザインディレクター）</p> <p>【自己略歴】</p> <p>2000年4月 愛知県西春町社外アイデア重役委託 2001年8月 宮崎市福祉のまちづくり協働会議作業部会委員 2005年9月 宮崎市中心市街地活性化対策委員会委員 2006年6月 山口県民活動審議会委員 2007年3月 山口県景観アドバイザー委員 2007年6月 かごしま市地球温暖化対策地域協議会委員委員 2008年6月 鹿児島県環境審議会自然環境保全委員委員 2012年6月 鹿児島県環境審議会自然環境保全委員委員 2014年6月 宮崎県自然保護推進委員（第1-165号） 2020年4月 宮崎県景観まちづくりアドバイザー委員（更新） 2020年6月 宮崎県立図書館協議会委員委員 2021年10月 宮崎県自然環境保全審議会委員委員</p> <p>【執筆等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ランドスケープデザイン」（マルモ出版）NO. 43～NO. 65連載執筆等